

機械器具 58 整形用機械器具
一般医療機器 骨接合用又は骨手術用機械器具
ドリルアタッチメント 200

【禁忌・禁止】

- ① 使用後は必ずすぐに、洗浄、注油、滅菌を行うこと。
[血液等の内部凝固のおそれ]
- ② 回転中は、ツイストコレットは絶対に回さないこと。
[ドリルが外れることによるけがのおそれ]
- ③ ドリルは、弊社指定のドリル（別売品）以外には使用しないこと。
[故障や事故のおそれ]
- ④ ドリルの指定した最大回転数以下で使用する事。
[故障や事故のおそれ]
- ⑤ 強く押しつけて、連続的に使用すること。
[バーガードが破損しけがのおそれ]

【形状・構造等】

P200-2SD



【使用目的】

患畜の骨の穿孔を行う専用ドリルを回転させるために用いる。

【品目仕様等】

許容最高回転速度……………80,000min⁻¹

注水方式……………外部注水方式

【操作方法又は使用方法等】

詳細については取扱説明書を参照すること。

- ① 使用前に必ず滅菌を行うこと。
- ② 本品をモーターハンドピースに接続する。
- ③ ツイストコレットを回し、専用ドリル（シャンク径：φ2.35mm）を取り付ける。
- ④ モーターハンドピースを回転させ使用を開始する。

【使用上の注意】

- ① 本品は獣医家向け製品であり、手技に精通した獣医師以外には使用しないこと。使用前に使用方法等を熟知してから使用を開始すること。
- ② 患畜の安全を第一に考え、使用には十分注意を払うこと。
- ③ 落下させるなど強い衝撃は与えないこと。
- ④ 分解、改造は行わないこと。
- ⑤ アタッチメントのサイズに合ったドリルを使用すること。
- ⑥ 使用中は、ツイストコレットは絶対に回さないこと。
- ⑦ ドリルを装着していない状態では作動させないこと。
- ⑧ ドリルの交換やアタッチメントを取り外す際は、モーターハンドピースの回転が完全に停止してから行うこと。
- ⑨ 超音波洗浄装置、ウォッシュャーステライザーにて洗浄しないこと。

- ⑩ 本品を安全に使用するため、ドリルは手術ごとに新しいものに交換すること。
- ⑪ 術前に回転させて、発熱、騒音、芯振れ等の異常が無いことを確認すること。
- ⑫ ドリルを取り付けたとき、必ずドリルを軽く引いて確実に装着されていることを確認すること。
- ⑬ 作動中に本品をモーターハンドピースから着脱させないこと。
- ⑭ 使用後は必ずドリルをはずすこと。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1) 貯蔵・保管方法

- ① 水のかからない場所に保管すること。
- ② 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
- ③ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

2) 耐用期間

製造の日から、正規の保守点検（消耗部品の交換）を行った場合に限り5年間とする。

【保守・点検に係わる事項】

詳細については取扱説明書を参照すること。

アタッチメントは、オートクレーブ滅菌が可能である。

また、使用後は直ちに以下の手順により、洗浄、注油、滅菌を行うこと。

- ① アタッチメントの外観に損傷や劣化がないことを確認する。
- ② アタッチメントの表面の汚れを、医療用中性洗剤を含んだ布（毛羽立たないもの）、またはブラシ（金属製は不可）で十分に拭き取ること。その後、蒸留水、脱イオン水、脱ミネラル水を含んだ布（毛羽立たないもの）で洗剤を拭き取ること。
- ③ アタッチメントは熱水洗浄器の使用が可能である。
- ④ パナスプレーエックス（別売品）で十分に注油を行うこと。この手順が省略されると、製品本来の機能が阻害される恐れ（音、振動、熱、等）があり、かつ製品の寿命にも影響することがある。
- ⑤ 専用滅菌ケースなどに入れる。
- ⑥ 135℃までのオートクレーブ滅菌を行う。
- ⑦ しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に装置が正常かつ安全に作動することを確認すること。

【包装】

本品が1箱に1本入る。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：株式会社ナカニシ

住 所：〒322-8666

栃木県鹿沼市下日向700

TEL：0289-64-3380

FAX：0289-62-5636

製造業者：株式会社ナカニシ